

製品/ソフトウェア

StarOffice21 / コミュニケーションポータル

StarOffice21 Communications Portal

吉川 彰一*
Shoichi Yoshikawa

加賀屋 公章*
Kimiaki Kagaya

要 旨

StarOffice21/コミュニケーションポータルは、複数のコミュニケーション手段を一元化し、プレゼンスに合わせた最適なコミュニケーションを実現する製品です。

本稿では、StarOffice21/コミュニケーションポータルの概要および機能を説明します。

“StarOffice21 Communications Portal” can offer the best communication method to the end user according to multiple presence informations of members.

This paper describes the functions and features of “StarOffice21 Communications Portal” software products.

1. はじめに

ガートナーグループによる定義¹⁾では、Unified Communicationとは「様々なコンタクト手段とインタラクシオン手段の統合」とされています。NECでは、Unified Communicationを具体化するソリューションである、ユニファイドコミュニケーションソリューション²⁾により、電話やインスタントメッセージ、e-mailなどのコミュニケーション手段とカレンダー、電話帳などを介したコミュニケーションであるインタラクシオン手段を統合したソリューションを提供してきました。ユニファイドコミュニケーションソリューションは、ソフトフォン (DtermSP30) や、StarOffice21/ビジネスポータル、StarOffice21/ビジネスディレクトリ、StarOffice21/電子電話帳、コミュニケーションドア/会議SLなどの連携により、音声系とデータ系を統合し、オフィス、外出先、自宅など、いつでも、どこでも、オフィスワークの遂行が可能となりました。

このたび、従来のユニファイドコミュニケーションソリューションをさらに進化させ、電話、メール、インスタントメッセージ、Web会議などのコミュニケーション手段を一元管理し、相手の状態を統合的に表示するプレゼンス機能や、電話からWeb会議へのコミュニケーション手段のシ

ームレスな拡張などを統合的に提供する、StarOffice21/コミュニケーションポータル (以下、コミュニケーションポータル) を製品化しました。コミュニケーションポータルを利用することで、コミュニケーションの無駄を削減し、相手に合わせた最適で密度の高いコミュニケーションを行うことが可能となり、知的生産性を向上させます。

2. 機能概要

コミュニケーションポータルは、コンタクトリスト上に日常的にコミュニケーションを取るメンバを登録しておくことで、そのメンバの状態 (プレゼンス) を確認し、ワンクリックでコミュニケーションを取ることを可能とします (図1)。また、StarOffice21/ビジネスディレクトリによって管理されている会社電話帳を検索し、その結果からコミュニケーションを開始することも可能です。

以下に、各機能を説明します。

3. コンタクトリスト

コンタクトリストは、コミュニケーションポータルの中核的なインタフェースです。ユーザはこのインタフェースを利用して、より効率的なコミュニケーションを実現することが可能となります (図2)。

コンタクトリストには、日常的にコンタクトするメンバを登録しておきます。コンタクトリストに登録しておくこ



図1 StarOffice21/コミュニケーションポータル
Fig.1 StarOffice21 Communications Portal.

* ユビキタスソフトウェア事業部
Ubiquitous Software Division

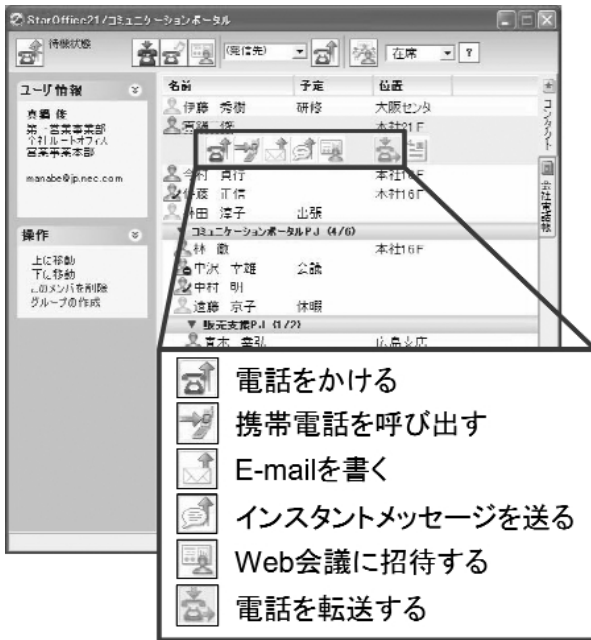


図2 コントラクトリスト

Fig.2 Contact lists.

とで、そのメンバの現在のプレゼンス情報を確認することが可能となります。また、選択したユーザにワンクリックで「電話をかける」、「携帯電話を呼び出す」、「e-mailを書く」、「インスタントメッセージを送る」、「Web会議に招待する」、「電話を転送する」という各コミュニケーション手段を呼び出すことが可能です。ユーザはコンタクトリストで、コミュニケーションを取りたいメンバのプレゼンスを確認し、最適な手段を選択してワンクリックでコミュニケーションを取ることが可能となります。

4. プレゼンス

コミュニケーションポータルでは、NECが開発したPresence Managerを利用することでユーザのプレゼンス情報を統合的に管理し、複数のプレゼンス情報をユーザに提供します。現在のコミュニケーションポータルが表示することが可能なプレゼンス情報は、「CP（コミュニケーションポータル）プレゼンス」、「電話プレゼンス」、「スケジュールプレゼンス」、「位置プレゼンス」の4種類です（図3）。

「CPプレゼンス」とは、コミュニケーションポータルのインターフェースからユーザが設定することができるプレゼンスです。ユーザが自分の状態を通知したい場合に利用します。

「電話プレゼンス」とは、ソフトフォン（DtermSP30）の状態（在席、不在、通話中、取り込み中）を表示するもので、ソフトフォンからプレゼンスサーバ UNIVERGE PS1000に登録されるプレゼンス情報です。ソフトフォンの状態が変わることで、コミュニケーションポータルに表示されて

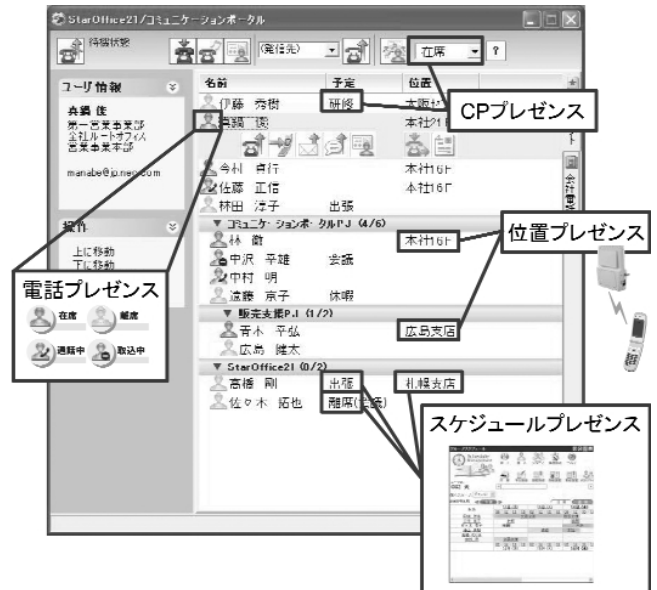


図3 プレゼンス情報表示

Fig.3 Presence displays.

いるアイコンが状態に合わせて変化します。

「スケジュールプレゼンス」とは、StarOffice21のスケジュール管理に格納されているスケジュール情報です。Presence ManagerがStarOffice21のスケジュール情報を取得し、メンバのスケジュールが会議中であれば「会議」と表示されます。スケジュール上で会議が終了した時刻になると自動的にプレゼンス情報が書き換わりますので、従来のように手動でプレゼンス情報を変更する必要がなくなります。そのため、登録忘れや更新忘れなどによる不正確さを解消することが可能です。

「位置プレゼンス」とは、FOMA N900iLや無線LAN搭載PCなどのような無線端末が通信している無線LANアクセスポイントの情報です。Presence ManagerはUNIVERGE WLワイヤレス・コントローラから無線端末がアクセスしている無線LANアクセスポイント情報を取得し、位置情報として提供します。無線LANアクセスポイントを位置情報として扱うことで、GPSのような2次元の情報だけでなく、ビルの階数のような高さ情報も提供します。また、無線LANアクセスポイントからの情報が取得できないような場合には、スケジュール情報の位置属性を位置情報として表示します（無線LANアクセスポイントの情報が取得できる場合には、そちらを優先します）。

コミュニケーションポータルは、これらのプレゼンス情報を統合的に表示することで、メンバの状態をできる限り正確に通知し、ユーザはその情報を基に最適なコミュニケーション手段を選択することが可能となります。

5. Web会議

コミュニケーションポータルは、会議を行うことはもち



図4 Web会議

Fig.4 Web conference functions.

ろん、資料共有、アプリケーション共有を行うことが可能です。この機能は、NECのコミュニケーションドア/会議SLをベースとして利用しており、Web会議アプリケーションとしての充実した機能をすべて利用することが可能です(図4)。

一般的なWeb会議では、参加者が特定のURLにアクセスして参加する形で会議を行います。コミュニケーションポータルでは、Web会議に招待する形で会議が開催されます。主催者はWeb会議に参加させたいメンバをコンタクトリストから呼び出します。メンバに対してはコミュニケーションポータルからWeb会議への招待通知が行われ、メンバは招待通知をクリックするだけでWeb会議に参加することができます。会議開催中に任意の参加メンバが、動的に追加のメンバを招待し、人数を増やしていくことも可能です。

電話をしている相手をWeb会議へ招待することで、電話からWeb会議へとコミュニケーション手段をシームレスに拡張することができ、電話だけでは伝わりにくい内容も資料共有やアプリケーション共有を行うことにより、密度の高い効率的なコミュニケーションを行うことが可能となります。

6. 会社電話帳

コミュニケーションポータルは、LDAPサーバであるStarOffice21/ビジネスディレクトリで管理されているユーザ情報を会社電話帳として検索することが可能です。氏名や所属、電話番号、e-mailアドレスなどの情報を検索キーワードとして指定することができ、複数のキーワードを指定することで絞り込み検索も行えます。検索された結果は、コンタクトリストに登録することが可能です。

7. むすび

StarOffice21/コミュニケーションポータルは、今後も各機能の強化、および様々なサービスとの連携強化を図り、さらなるコミュニケーション機能の統合を実現していきます。

* FOMA は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

参考文献

- 1) Gartner “Unified Messaging Will Be Just a Part of Unified Communications Drew Kraus, Bernard Elliot, April 10, 2001., GJ03533
- 2) 「StarOffice21/ユニファイドコミュニケーション」 NEC技報, Vol.57 No.5, pp. 68～72, 2004-11.

筆者紹介



Shoichi Yoshikawa

よしかわ しょういち

吉川 彰一

1994年、NEC入社。現在、システムソフトウェア事業本部ユビキタスソフトウェア事業部エンジニアリングマネージャー。



Kimiaki Kagaya

かがや きみあき

加賀屋 公章

1981年、NEC入社。現在、システムソフトウェア事業本部ユビキタスソフトウェア事業部シニアマネージャー。